大会名称: **第48回関東中学校バスケットボール大会**

開催場所: ALSOKぐんまアリーナ　Mコート

試合区分: No. 138 男子　　決勝　　コミッショナー: 西尾　衣梨佳　　鵜野　明子

期　　日: 2018(H30)年8月9日（木）　　主審: CC　長谷川　裕

開始時間: 14:50　　副審: U1　菊地　真吾　U2　加藤　暁生

終了時間: 16:00

実践学園（東京）	○ 64	12 -1st- 17 23 -2nd- 9 13 -3rd- 15 16 -4th- 15 -OT1- -OT2- -OT3-	● 56	東海菅生（東京）

NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	新井 翔太	28	6	5	0	1	4	*	水品 拓也	2	0	1	0	0
5		高橋 記紹	−	−	−	−	−	5	*	須藤　柊	22	2	5	6	3
6	*	宮田　澪	5	1	1	0	2	6		守屋　大	5	0	2	1	2
7		齊藤 翔吾	−	−	−	−	−	7		宮川 大志	−	−	−	−	−
8		福地 泰亮	−	−	−	−	−	8	*	大柳 亮太	13	0	6	1	1
9	*	家永淳之介	10	0	4	2	3	9		山本 正彦	−	−	−	−	−
10	*	山本　真	7	0	3	1	4	10	*	川俣 雄大	0	0	0	0	1
11	*	内山 幸紀	14	1	5	1	1	11		髙橋 昂汰	−	−	−	−	−
12		白崎 晃生	−	−	−	−	−	12	*	内田　蒼	12	0	6	0	3
13		岡田　新	−	−	−	−	−	13		小関 哉太	−	−	−	−	−
14		竹田 光騎	−	−	−	−	−	14		日笠 知哉	−	−	−	−	−
15		堀内 星河	−	−	−	−	−	15		北澤　爽	−	−	−	−	−
16		テーブス流河	−	−	−	−	−	16		原 湧光斗	−	−	−	−	−
17		大石凌仁郎	−	−	−	−	−	17		小野　司	−	−	−	−	−
18		榮田 敏久	−	−	−	−	−	18		竹内龍ノ介	2	0	1	0	1
コーチ		森　圭司					0	コーチ		小山 正男					0
		合計	64	8	18	4	11			合計	56	2	21	8	11

S: スターター　PTS: ポイント　3P: 3ポイントシュート　2P: 2ポイントシュート　FT: フリースロー　F: ファール

第48回関東中学校バスケットボール大会、男子決勝戦は実践学園対東海菅生との東京対決となった。都大会では、菅生が実践を下している。

第1P、高さの実践に対し、パワーの菅生。お互い持ち味を生かした攻撃を展開する。実践は＃4の1on1や＃9、＃10のポストプレーを仕掛けるが、なかなかシュートが入らない。対する菅生は＃12のミドルシュートや＃8の速攻などで得点する。5－12としたところで実践最初のタイムアウト。実践は何とか食らいつき12－17菅生リードで終了。

第2P、両チームとも激しいDefでプレッシャーをかけるが、高さのある実践がリバウンドを制し出すと流れが変わり、シュートが決まり出す。残り3分で逆転すると、実践＃9の1on1や＃10のゴール下などで点差を広げ、35－26で終了する。

第3P、菅生は第2P途中で交代した＃12をコートに戻す。＃12がDefやリバウンドを頑張り、点差が縮まり始める。実践は＃4の1on1から＃10への合わせのプレイで対抗し、リードを譲らない。お互い一進一退の攻防が続き、48－41実践リードで最終ピリオドへ。

第4P、実践は開始早々連続得点を挙げて点差を11点にしたところで、菅生はタイムアウト。追いつきたい菅生は、＃12のポストプレイで対抗するが、実践＃4が2本、＃11が1本3Pを決めてリードを広げられ、苦しい展開が続く。諦めない菅生は＃5が2連続3Pを決めて10点差にするが、その後は実践の激しいDefに阻まれてシュートが入らずタイムアップ。64－56で実践が都大会のリベンジを果たし、優勝した。優勝した実践も、最後まで諦めずに戦った菅生も、全国大会での活躍を期待したい。

関東中学校体育連盟